



[冬の風物詩どんど焼き20170109](#)

平成29年1月9日三島市芙蓉台に於いて恒例の冬の風物詩となった「どんど焼き」の行事が行われました。

前日の風雨が嘘の様に収まり、穏やかな天候の中、子供会、自治会、シニアクラブ、中学生ボランティアが一つになって行う地域の伝統行事となった「どんど焼き」です。

各家庭から集めた正月飾りで立派な「どんど焼き」のやぐらができました(写真)。最近は大きな達磨の入手が難しくなっているといひます。



[冬の風物詩どんど焼き](#)



[冬の風物詩どんど焼き](#)

始まりの儀式を終え、いよいよ小学生による火入れです。ここではベテランの方の登場です。火入れの小学生を安全に誘導します(写真左右)。



[IMG 7835](#)



[どんど焼き](#)

どんど焼きが始まりました。パチパチと音がします。これが魔除けです。火が大きくなるに従いドーン、ドーンと音がします。どんど焼きの名前の由来(一説)と言われています。

このドーンと音を出すには太い竹が必要になります。この竹を提供してくれる人の協力が有ります。伝統行事を続けるには多くの人の協力が必要です。住民が一つになる大事な行事となっています。消防団の協力も欠かせません。

今日は風もなく穏やかな天候になり、燃えた煙は真っ直ぐに天高く上って行きました。



どんと焼き

婦人部の皆さんが、恒例の豚汁を準備しています(写真)。豚汁を振舞うのも伝統となっています。



どんと焼き



どんと焼き

人気の豚汁には行列ができます。最初は子供から(写真左)。そして、大人の皆さんにも大好評で婦人部の皆さんは嬉しい悲鳴を上げています(写真右)。作った豚汁は行き渡って全て食べられました。フードロスはゼロです。



どんと焼き

どんと焼きが燃え終わると残り火で団子、お餅を焼きそれも食べて、今年一年の無病息災・五穀豊穡を祈りました。さつま芋も準備されていました。焼き芋が美味しく出来上がりました。伝統行事に参加した皆さんは今年も今日の天気のように平穏な一年になるよう、祈られたことと思います。

取材；東部・田方地区生きがい特派員 加藤 孝